

No.	015	—	1001	事務事業名	道路橋梁維持事業			細事務事業名				公的関与	3	
PLAN	課名	建設課		係名	土木係			電話番号	089-964-4472		メールアドレス	kensetu@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	施設の維持管理			事業運営方法	直営		実施計画	該当	事業期間	年度	～	年度	期間設定なし
	総合計画	政策目標	第2章 安全で快適な社会基盤のまち			政策項目	1 安心・安全な都市基盤の整備			主要施策	(3) 市内道路網の整備促進			
	事業の対象	市が管理する道路等（道路利用者）						根拠法令						
	事業の目的	最終的	道路網の安全・信頼性を確保し、快適な道路空間の創造を図り、質の高い交通サービスを提供する。					今年度	市が管理する道路施設の修繕及び舗装補修を実施する。また、植樹帯の管理、道路除草等を行うことで安全・安心な交通サービスを提供する。					
	活動内容	①	道路施設等の修繕箇所を計画的に行う。					④	定期的に市道の植樹帯の管理を行う。					
		②	市内一円の市道等の舗装補修を行う。					⑤	主要路線の道路除草を実施する。					
		③	道路パトロール等で発見した危険箇所や市民からの要望・苦情箇所の迅速な修繕対応を行う。											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由				単位	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	最終目標		
		道路施設等の修繕箇所数						箇所	目標	40	40	40	—	
舗装補修箇所数						箇所	目標	90	90	90	—			
苦情処理件数		道路管理等に関する重大な苦情				件	目標	—	—	—	—			
							実績	57	68					
							実績	69	52					
DO	予算費目	会計	一般会計				費目名	土木				費		
	直接事業費		平成 28 年度決算	平成 29 年度決算	平成 30 年度予算	備考								
		国・県支出金	38,998 千円	27,995 千円	44,935 千円									
		地方債	11,400 千円	8,300 千円	26,600 千円									
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円									
		一般財源	188,620 千円	142,660 千円	151,179 千円									
		計(A)	239,018 千円	178,955 千円	222,714 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	3.335 人	19,890 千円	3.097 人	18,619 千円	3.097 人	18,988 千円						
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
	全体事業費(A+B)		258,908 千円		197,574 千円		241,702 千円							
一次評価者	土木係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実	
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）													
必要性	市道や生活道路などの維持管理は市民生活に直結した事業であり、必要性の高い事業です。													
有効性	全市道について適正な維持管理が求められる中、区長要望等を通じ優先度を勘案して事業を実施することで、限られた予算を有効的に活用しています。													
達成度	例年、区長要望箇所、修繕計画箇所、緊急対応箇所等を予算の範囲内で優先度に応じて事業実施しており、これを継続していくことにより順次目標の達成を図っています。													
効率性	道路施設等の維持修繕、舗装補修等がある程度一括して発注する事により、他事業との調整や緊急対応が容易となり、効率的な事業実施が可能となっています。													
当面の課題	道路施設（橋梁・トンネル・舗装・道路構造物等）の経年変化による老朽化が進んでおり、今後、更に修繕費用の増加が見込まれます。また、山間路線の道路除草については、これまで地域で対応してきた除草等の維持管理が、高齢化等により困難な地域が増えつつあり、対応策の検討が課題となっています。													
改計画	橋梁・トンネルについては、長寿命化修繕計画を立て事後的修繕から予防的修繕へと転換を図り、ライフサイクルコストの低減に努めます。また、道路除草については、市民の協力を最大限に活用するとともに、他市の取組事例も参考に対応策の検討を行う必要があります。													
二次評価者	建設課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実	
二次評価での指摘事項	安全で快適な通行を確保するためには、道路施設の維持管理が必要不可欠であることから、道路パトロールで発見した異常箇所や市民からの要望・苦情箇所の迅速な修繕対応を行ってください。また、道路除草については、地域住民の協力を可能な範囲で活用するとともに、他市町の取組事例を参考に対応策を検討してください。今後、橋梁等の長寿命化に目途がたった段階では、耐震対策に移行していく必要があります。													

No.	015	—	1010	事務事業名	道路橋梁新設改良事業	細事務事業名		公的関与	3				
PLAN	課名	建設課	係名	土木係	電話番号	089-964-4472	メールアドレス	kensetu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ハード事業		事業運営方法	一部委託	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第2章 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	1 安心・安全な都市基盤の整備		主要施策	(3) 市内道路網の整備促進				
	事業の対象	市が管理する道路等（道路利用者）				根拠法令							
	事業の目的	最終的	道路網の安全・信頼性を確保し、快適な道路空間の創造を図り、質の高いサービスを提供します。			今年度	市道及び生活道路の舗装及び改良工事を実施し、質の高い交通サービスを提供します。						
	活動内容	①	幹線市道の拡幅工事や他の施策に関する市道改良及び舗装を行う。			④	(仮称)東温スマートインターチェンジ整備の推進。						
		②	狭隘箇所や急カーブ等の危険箇所の舗装及び改良工事を行う。			⑤							
		③	地域が望む生活道路の舗装工事及び道路拡幅費用の助成を行う。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	最終目標			
				事務の性質上、指標設定になじまない。		目標							
				実績									
				目標									
				実績									
				目標									
				実績									
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	土木			費				
	直接事業費		平成 28 年度決算	平成 29 年度決算	平成 30 年度予算	備考							
		国・県支出金	133,359 千円	69,201 千円	99,330 千円								
		地方債	98,100 千円	50,900 千円	73,100 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	3,600 千円								
		一般財源	87,231 千円	93,631 千円	148,899 千円								
	計(A)	318,690 千円	213,732 千円	324,929 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	2.134 人	12,727 千円	2.491 人	14,976 千円	3.491 人	21,403 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		331,417 千円	228,708 千円	346,332 千円								
一次評価者	土木係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	快適な道路空間の創造を図り、質の高い交通サービスを提供する上では、必要な事業です。												
有効性	道路の新設改良事業については、国庫補助事業を有効活用しています。また、生活道路の舗装事業及び改良事業では、地元への9割補助事業が道路整備の有効な手段となっています。												
達成度	国庫補助事業の道路新設改良事業においては、補助金の割当額が少ないため、目標に対し事業の進捗が遅れています。												
効率性	市道については国庫補助事業、生活道路については9割補助等を有効に活用し、効率的に事業を実施しています。												
当面の課題	公共施設の老朽化対策が全国的な課題となる中、国庫補助事業においては長寿命化対策や防災・減災対策に重点が置かれており、道路の新設改良事業に対する国の補助割当額が少なく、今後の新設改良事業については、その進捗が課題となっています。												
改革計画	道路の新設改良事業に対する国の補助金の割当額が少ないことから、今後の進捗状況を勘案し、改良計画の部分的な見直しを行うことが必要です。												
二次評価者	建設課長	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	2	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	今後も道路網の安全・信頼性を確保しながら、快適な道路空間の創造を図り、質の高い交通サービスを提供するよう努めてください。また、生活道路については、緊急性、必要性及び地域のバランスを考慮しながら計画的に整備する必要があります。												